



学校通信

# 朴の花

NO. 8  
R1.11.1

知内町立湯ノ里小学校

知内町字湯ノ里一五六の六一

電話 6-2011  
ファックス 6-2780

湯ノ里小学校  
は、地域とと  
もに歩みます

## 重点教育目標「主体的に学び自信と意欲あふれる湯ノ里の子ども」

自分の命を自分で守る力

校長 ●●●

台風シーズンはまだ終わっていないようですが、今シーズンの台風の北海道への影響は、過去を振り返っても珍しいほど少なかつたように思います。今回、各地に大雨を降らせ、大きな被害をもたらした台風十九号ですが、ルートが少しでも変わってれば、この地域にとっても結果（被害）が変わっていたのかもしれない。先日、湯ノ里地区においても防災訓練を実施しましたが、災害に対する心構えとして、「災害はいつでもどこでもやってくる」という意識をもち、万一の場合には、「自分の命は自分で守る」ための行動を起こすことがとても大切になるのだと改めて思いました。台風十九号により全国で九十名近い犠牲者を出してしまった背景には、「まさか」の意識が働いていたということだと思います。「まさか」の意識とは、「まさか多摩川が決壊することはないだろう」、「まさか千曲川が決壊することはないだろう」などという、何の根拠もない思い込みのことを意味します。その結果、避難を呼びかける役場職員の言葉や放送を「無視」することになってしまひ、逃げ遅れ、車や家ごと濁流に呑み込まれてしまったということ。本校においては、春先から「自分の命は自分で守る」意識を子どもたち自身につけさせるために、「交通事故」や「地震」、「火災」、「災害」などについて考えるように仕向けてきました。危険を感じた時は、「最悪」を想定して行動することで、被害を最小限にとどめることができることでしよう。

### 渡島PTA連合会研究大会 知内大会開催

十月二十七日（日）、渡島PTA連合会研究大会知内大会が知内中学校を会場に開催されました。当日は、渡島管内各市町のPTA会員や来賓・助言者など、三五二名が参加しました。開会式に引き続き行われた午前部の中心は、「子どもを信じれば子どもの能力は爆発的に伸びる」と題して行われた、橘こころ氏による講演でした。橘こころさんといえば、映画『ビリギャル』の原作の母親として有名です。三人の子どもの親として子育てしましたが、姉はビリギャル、弟は自暴自棄、妹は不登校で、周囲からは『ダメ親』と呼ばれた母親だったとのことでした。そんなごん底の生活の中で経験したさまざまな出来事についてお話ししていただきましたが、いつでも、何があっても子どもを認め、叱ることなくプラス思考の言葉をかけ続ける、「子どもを信じきる親心」がとても伝わってくるよいお話でした。昼食をはさんだ午後の部は、六部会九分科会に分かれて分科会を行いました。各分科会では、提言を担当した単位PTA（学校）の実践についての提言発表を聞き、発表に対する質問や意見、PTA活動を推進する上での悩みやアドバイスなど、活発な交流を行いました。また、本校PTA役員の方々におかれましては、それぞれにお忙しい中にもかかわらず、本研究大会開催のために貴重な日曜日を一日割いていただき、本研究大会の運営にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

### 湯ノ里小の秋 【スポーツの秋】

今年度も体力作りに取り組んでいます。今年度六回目のSAQの活動場面です。新聞紙が落ちないスピードで走っています。瞬間的に大きな力を出す運動や素早く動く運動など、総合的な体力の向上を目指しています。

### 【食欲の秋】

二年生の調理実習の場面です。学級園で一生懸命に育てて収穫したじゃがいもをきれいに洗い、皮をむいて細く切り、油で揚げると、とてもおいしいフライドポテトを作りました。塩味もコンソメ味も大好評でした。

### 【読書の秋】

読み聞かせ集会の場面です。読み聞かせは絵本で行っていますが、学校通信八月号に掲載した読書集会では、自分の好きな本を紹介しました。読書に興味をもち、読書好きな人が少しでも増えてくれるといいですね。

### 「即位礼正殿の儀」

去る十月二十二日（火）には、「皇位の継承」に伴い、新天皇の「即位礼正殿の儀」が行われ、この日は、国民が祝意を表すための日として、「国民の祝日」と定められました。これに先立ち、五月一日（水）には、新天皇が即位しましたが、この日は「天皇の即位の日」として、同じように「国民の祝日」となり、ゴールデン・ウィークが十連休になったことは皆さんの記憶にあることと思います。

いずれの日も、休日を決める法律による「今年限り」の「国民の祝日」であることが少々残念な気がしますが、元号が「平成」から「令和」に変わったこの時代を生きていたからこそ経験できた「貴重な経験」でもあるのです。

### 【十一月の行事予定】

- 一日（金）郷土料理体験
- 二日（土）知内町読書感想文画コンクール表彰式
- 三日（日）文化の日
- 四日（月）振替休日
- 六日（水）全校朝会
- 七日（木）避難訓練（火災）
- 八日（金）木育・食育授業、クラブ活動
- 十一日（月）低学年そば打ち体験
- 十三日（水）SAQ⑦
- 十五日（金）渡島教育研究会（午前授業）
- 二十二日（金）餅つき集会準備
- 二十三日（土）勤労感謝の日、渡島読書感想文コンクール表彰式
- 二十四日（日）餅つき集会
- 二十五日（月）振替休業日、ドッジボール大会
- 二十七日（水）親子レク、個人懇談①、スクールカウンセラー来校
- 二十八日（木）個人懇談②

# 重点教育目標「主体的に学び自信と意欲あふれる湯ノ里の子ども」



## 湯ノ里ゆめ学園だより

NO. 8  
R1.11.1

知内町立湯ノ里小学校  
知内町立湯ノ里保育所

小学校電話 6-2011  
保育所電話 6-2002

湯ノ里小学校  
は、地域と  
もに歩みます

### 湯ノ里地区防災訓練実施

九月二十九日(日)、湯ノ里地区の防災訓練が行われました。この日は、早朝から時折強い雨が降り、訓練とは思えないような天候の中で実施されました。避難を指示する防災放送が流れた直後から、避難場所となった湯ノ里小学校体育館には、避難する地域の方々が続々と集まり始め、放送から三十分ほどで八十名ほどの住民が避難しました。訓練の中では、災害によって負傷者が出た場合の搬送の仕方や、避難場所での段ボールベッドの組み立て方や使い方などについて説明がありました。段ボールベッドは思った以上に丈夫で、引き出しもあり、ちよつとした荷物ならベッドの下に収納できるようなっていました。また、プライバシー保護や防音対策のために壁や天井もついているため、質素で四角いカプセルホテルのような空間になっており、本校の児童らは興味津々といった感じで、見て・触って、最後には寝転がっていました。が、実際には、使うことがないことを祈っています。最後には、婦人会の方々による「炊き出し」が行われ、訓練の参加者には「豚汁が振る舞われました。」

### 湯ノ里ゆめ学園「学芸会」開催

十月十三日(日)、湯ノ里ゆめ学園学芸会が開催され、本校二年生と保育所年長児による元気な「はじめの言葉」で幕を開けました。最初の演目は、本校二・三年生と保育所きりん組合同の手遊び「きのこ」。「大きな栗の木の下で」でした。目立たないようにお手本を見せる保育所の先生の身振り・手振りを見ながら一生懸命に頑張っていました。引き続き、全校児童による合唱「パプリカ」が発表されました。本番に強いところを見せてくれた歌声でした。その後、発表された保育所の演目としては、ひよこ組の遊戯「月光仮面」、きりん組の遊戯「ケボーン！リュウソウジャー」、ひよこ組・きりん組合同の遊戯「パプリカ」がありました。お揃いや色違いの衣装を身にまとい、元氣いっぱいにかっこよく、可愛らしく踊って会場を沸かせていました。本校の演目では、二・四年生による劇「金のがちよう」、五年生による「宿泊学習発表会」、六年生による「修学旅

行発表会」、全校児童による器楽演奏「パプリカ」、全校児童によるダンス「パプリカ」、「マスカット」、五・六年生による劇「湯ノ小ワンダーランド」を発表しました。

本校は、全校児童が十一名と少ないため、演目以外の役割も含めて一人何役も担当し、本番を迎えるまでの用具準備や練習がとて大変そうでしたが、最後までよく頑張っていました。また、子どもたちが一生懸命に頑張ってきた成果を十分に発揮させようとする裏方の先生たちの頑張りも見逃せませんでした。学芸会を見に来てくれた皆様に対する「湯ノ里ゆめ学園」の総力を挙げての「おもてなし」ができたと思っております。ご来場、誠にありがとうございました。

### 第二回学校運営協議会

十月二十四日(木)、今年度二回目の学校運営協議会が開催されました。今回の議題は、主に①前期活動報告、②後期学校経営の重点・取組方針、③質疑応答、という内容でした。委員の方々からは、湯ノ里体験学習の経費に関することや、合同学習、外国語学習に関する子どもたちの様子についての質問があり、学校からの説明や熱心な協議を行いました。また、連絡事項として、次年度の入学予定者数や「餅つき集会」、「ゆめ大学」等について説明しました。

### 湯ノ里ゆめ学園

## もちつき集会



日時：令和元年11月24日(日) 9時～12時  
場所：湯ノ里小学校 体育館  
内容：もちつき交流(雑煮、おしるこ、きなこ餅など)

みんなで餅をついて交流しませんか?  
地域の皆さんの参加をお待ちしています!!

知内中吹奏楽部演奏もあるよ!!

